

# 図書館へ行こう!

## 話題の新着本

『藪医ふらここ堂』

朝井まかて/著  
神田三河町で開業している小児医、天野三哲は「面倒臭え」が口癖の藪医者。直木賞作家が人情と笑いたっぷりに描く、江戸の名物小児医の物語。



『似非遍路』澤田ふじ子/著

高瀬川畔で居酒屋を営む宗因は、手代を伴い四国遍路に出かけた塩問屋の主・播磨屋九郎左衛門が、畑仕事をしているのを目撃する。問いただしても「わしはただの百姓どす」と言い張るが…。



『総理にされた男』中山七里/著

総理に瓜二つの容姿をもち、そのものまね芸を得意とする売れない舞台役者に持ちかけられた極秘指令とは。政治の世界をわかりやすく描くポリティカル・エンターテインメント小説。



『鬼神の如く』葉室麟/著

諸藩取り潰しの機会を窺う幕府に、すすんで主君の不忠を訴え出た黒田家家老・栗山大膳の真意は? 〈黒田騒動〉を舞台に、まことの忠義を描く、歴史長篇。



『ト伝飄々』風野真知雄/著

諸国を巡り、多くの伝説を生んだ塚原ト伝。数百戦で刃傷ひとつ負わなかった男が、剣の道を極めた先に見たものとは。更なる高みを目指すト伝の老境の姿を軽やかに描く剣豪小説。



『与楽の飯』澤田瞳子/著

奈良時代、国家の威信をかけた大事業、東大寺大仏建立。そこで働く若者・真楯は、造仏所炊屋の絶品の飯を心のよりどころに、厳しい労苦に耐えるうち、食とは、仏とは何かに気付いていく…。

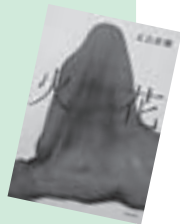


## 今月のBEST本

(8月の貸出回数上位本)

『火花』又吉直樹/著

奇想の天才である一方で人間味溢れる神谷、彼を師と慕う後輩徳永。芸人の2人が運命のように出会ってから劇は始まった。笑いとは何か、人間が生きるとは何なのか。



『ホテルローヤル』桜木紫乃/著

湿原を背に建つ北国のラブホテル。客、経営者家族、従業員はそれぞれ問題を抱えていた。「非現実」を求め、扉を開いた彼らの心の機微を鮮やかに描く。



『民王』池井戸潤/著

首相・武藤泰山は、ある日突然、大学生のドラ息子・翔と中身が入れ替わってしまい…。本物の大人とは何か、国を動かす政治とは何かを問うエンタメ政治小説。



## 10・11月のイベント情報

10/10・24・31・11/7

14:00～おはなし会

10/17 14:00～ポコ・ア・ポコおはなし会

10/20 10:30～ポコ・ア・ポコ

赤ちゃんおはなし会

文化祭共催事業  
道立図書館貴重資料展



「懐かしのアイドル特集」

10/24(土)～11/8(日)

ロビー展示 「木のテーマ展」

10/31(土)～11/15(日)